

「ひと・まち未来共創学環」は、現在（令和6年6月）では設置計画中です。この計画は今後文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等によって確定するもので、こちらに記載の内容は予定であり、内容には変更があり得ます。  
確定後の内容については、学生募集要項で必ず確認してください。

## ひと・まち未来共創学環の新設について

山口大学では、「ひとや地域のウェルビーイングに貢献する文系DX人材」の養成を目指す「ひと・まち未来共創学環」の新設を計画し、準備を進めています。「ひと・まち未来共創学環」の設置に合わせ、教育学部及び経済学部で募集人員の変更を予定しています。詳細は、選抜要項22ページの入学定員等をご確認ください。

設置計画は文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等によって確定するものであり、変更があり得ます。この入学者選抜要項に掲載する募集人員、出願資格・要件、入学者選抜方法及び選抜期日などはすべて予定です。詳細については、随時山口大学ホームページ等で発表する予定です。

## ひと・まち未来共創学環の概要

### 1 設置の背景と目的

地域（地方）には、少子高齢化や過疎化、人と人とのつながり（コミュニティ）の希薄化など様々な課題があります。これらをデジタル技術によって直接的に解決しようとする取り組みは多くみられますが、本来は、その前に地域課題を適切に見定める必要があります。心の豊かさを含む一人一人の多様な幸せと社会全体の豊かさを意味する「ウェルビーイング」は、このために有効な考え方と言えます。このウェルビーイングの考え方に立ち、デジタル技術者と協力してDX（デジタルトランスフォーメーション）を実践し、ひとや地域の課題を解決して、明るい未来につながる新たな価値を創造できる人材（ひとや地域のウェルビーイングに貢献する「文系DX人材」）が、今求められています。

そこで、山口大学では、「人間の心理・行動や地域・コミュニティに対する深い理解力及び数理的素養を含む分析力を基礎として、心の豊かさやまちの豊かさの観点から、ひとや地域の課題を見出し、その課題の解決のためにデジタル技術やAI技術などを活かすプロセスを提示でき、ひと・まち（コミュニティ）を起点とした新たな価値創出につなげることができる人材」の養成を目的として「ひと・まち未来共創学環」の新設を計画し、設置の準備を進めています。

### 2 教育課程の特色

#### ①「学部等連係課程」という制度を活用した学部相当の教育課程

ひと・まち未来共創学環は、学部等連係課程という制度を活用した学部相当の教育課程です。

教育学部、経済学部、国際総合科学部、人文学部といった複数学部の専門科目を受講することができます。

#### ② 分野横断・文理融合的な学びとプログラム制による専門的な学び

様々な学部の様々な専門分野の教員による、分野横断・文理融合的な教育を行います。

1～3年次にかけて、心理学・行動科学、社会学、経済学・経営学、地域学、データサイエンス、デジタル技術・AI技術とその活用等の「学環基盤科目」を学びます。

2年次以降は、「ひと・まち共創心理系プログラム」と「ひと・まち共創社会系プログラム」に分かれ、心理系（心理学、行動科学等）と社会系（社会学、経済学・経営学等）の専門科目を深く学ぶことができます。

このように、「ひと・まち未来共創学環」では、分野横断・文理融合的な幅広い知識・技能を身に付けるとともに、その中で重きをおいた分野の専門知識・技能を、より深く身に付けることができます。

#### ③ 課題重視型カリキュラム

1年次から地域課題を意識して大学での学びを行い、2年次には、実際に地域社会に出て地域課題に

「ひと・まち未来共創学環」は、現在（令和6年6月）では設置計画中です。この計画は今後文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等によって確定するもので、こちらに記載の内容は予定であり、内容には変更があり得ます。  
 確定後の内容については、学生募集要項で必ず確認してください。

触れてみる「DXによる地域課題解決（PBL）入門」に、3年次には、1年かけて「DXによる地域課題解決（PBL）Ⅰ・Ⅱ」に全員が取り組むことで、大学での学びを実際の地域課題の発見・解決に活かす実践的な学修を行います。この経験を基に4年次では地域課題の解決や新たな価値創出に資する研究テーマを設定し、卒業研究としてまとめます。

④ 充実した修学支援体制

①～③のような分野横断型、課題解決型のプログラムを実現するために、修学支援教員（チューター）によるきめ細かな学修指導を行います。

チューターは担任の先生のような存在で、1年次から卒業まで、学生に学修の相談、指導を行います。

ひと・まち未来共創学環のキャリアイメージ	
この内容は、現時点で計画中のものであり、今後変更になる可能性があります。	
卒業後の進路 (例)	民間企業（企画部門、マーケティング部門等）、地方自治体（統計部門、政策企画部門等）、NPO、大学院進学等
プログラムの特色	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>◇ひと・まち共創心理系プログラム</b></p> <p>心の豊かさや地域や社会の豊かさについて、ひとやコミュニティにおける心理や行動の視点に重きを置き、ひとや地域の課題を見出し、デジタル技術やデータサイエンスの知識を活用しながら、その解決につなげることで、ひとや地域のウェルビーイングに貢献する人材の養成を企図したプログラム。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>◆ひと・まち共創社会系プログラム</b></p> <p>心の豊かさや地域や社会の豊かさについて、自治体や企業活動の視点に重きを置き、ひとや地域の課題を見出し、デジタル技術やデータサイエンスの知識を活用しながら、その解決につなげることで、ひとや地域のウェルビーイングに貢献する人材の養成を企図したプログラム。</p> </div> </div>
地域社会の課題 発見、価値創造に つなげる科目	<b>卒業研究（地域課題研究）</b> <b>DXによる地域課題解決（PBL）</b>
より深く学ぶ科目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>心理・行動科学系</b></p> <p>発達心理学 学習・言語心理学 感情・人格心理学 臨床心理学概論 心理的アセスメント 精神保健学 等</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>社会科学系</b></p> <p>観光マーケティング論 社会学系 医療福祉経済論 現代社会学概論 地域企業経営論 等 現代社会学特殊講義 等</p> </div> </div>
共通で学ぶ科目  (心理・行動科学、社会学及び経済学の基礎的知識、データサイエンス、デジタル・AI技術活用能力)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>データサイエンス概論・演習 人工知能概論・演習 統計学概論・演習、心理統計学演習 (心理学統計法)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>心理学的支援法 カウンセリングマインド論 デザイン思考論</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ビジネスデータ科学 情報処理言語Ⅰ・Ⅱ 等</p> </div> </div>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>人間行動科学入門（心理学概論） 知覚・認知心理学</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>地域学 コミュニティデザイン論</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>社会心理学 社会学概論 経済学概論</p> </div> </div>
	<p>知的財産入門 データ科学と社会 知の広場 山口と世界 社会と医療 人間の発達と育成 ウェルビーイング学 等</p>

3 卒業後の進路

健康経営や人的資本経営を標榜する民間企業（人事部門、企画部門、マーケティング部門等）、公務員（児童相談所、統計部門、政策企画部門等の地方公務員や国家公務員）、NPOへの就職、大学院への進学等が考えられます。

4 募集人員 40名

- ① 一般選抜前期日程（24名）
- ② 一般選抜後期日程（8名）
- ③ 学校推薦型選抜Ⅰ（8名）